

令和6年能登半島地震に係る災害ボランティア等の活動状況について

令和6年3月11日現在
長野県社会福祉協議会

1 災害支援団体の活動状況

信州災害支援テクニカルチーム（長野県社協と協定締結した団体）が発災後、初期から活動中。【日本笑顔プロジェクト、災害NGO結、災害救援NGOヒューマンシールド神戸】



左 笑顔プロジェクトの重機
（同団体HPから）
右 住民の依頼で貴重な木皿
を探し出す（ヒューマンシールド
神戸HPから）

2 長野県社会福祉協議会のボランティア活動支援

- 災害ボランティアセンター運営支援等のため能登地方に職員を派遣
(1/3から先遣派遣、1月中旬から2～5名体制)
- 「あったかいご用品応援プロジェクト」によるおむつ等物資支援(1/5、1/15、1/26)
- 大規模災害ボランティア活動助成事業を活用したボランティア団体の活動支援、他の助成金の紹介（5名以下の場合）、現地とのコーディネート等

(1) 奥能登入浴支援プロジェクト

- （幹事：県介護福祉士会、現地調整：災害NGO結、活動場所：輪島市、七尾市、能登町）
- ・ 入浴車による入浴支援 4～5人×2日間×3回派遣（2/2・3、2/9・10、2/16・17）
 - ・ 温泉の提供（山ノ内町社協、福祉施設の浴槽等へ温泉を供給 1/26から計6回）
 - ・ 入浴車の貸出（辰野町1台、松川村社協1台→災害NGO結が現地で貸出活用）



左：各家庭に入浴
車で湯を供給
中：1か月ぶりの
入浴を支援
右：福祉施設に山
ノ内の温泉車到着

(2) 団体ボランティアの活動状況（例示）



左：飯田ボランティア
協会、穴水町(2/26-28)
右：御代田町ボラバス、
能登町(3/9・10)



左：小川村有志の炊き出し（穴水町、1/21）
 右：池田町社協・同町災害ボランティア団体（能登町、1/24 ほか）

3 ボランティアバスの募集（県民本部構成団体と共同した取組）

- 長野県内社協D S A T（災害V C運営支援者）が、能登町災害V Cの運営を支援し、県内からのボラバスも受入れ。（平日を中心に募集、長野県社協で日程調整）
活動・予約状況

活動日	実施団体（各 10 名程度、予定含む）
3/9～3/10	御代田町社協
3/13～3/14	岡谷市社協
3/15	木曾町社協
3/19	諏訪市社協、諏訪市防災市民ネット
3/20	須坂市社協、チームながでん
3/21	飯田市社協
3/26	須坂市社協、チームながでん
3/27	富士見町社協
4/2～3	長野市災害ボランティア委員会、長野市社協
4/12	下諏訪町社協 茅野市社協
4/19	豊岡村社協

- 災害ボランティア用軽トラ提供
 - ・長野県「復興支援県民本部」から 能登町社協へ 6 台、輪島市社協へ 4 台
 - ・その他、福祉施設から 1 台、民間事業者から 1 台を提供中
- 被災地の宿泊支援プロジェクト
 - ・能登町春蘭の里（旧小学校校舎を活用した宿泊所こぶしと農家民宿群）支援者の宿泊受入れ再開を支援。長野からのボラバスの宿泊拠点に
 - ・ここを拠点に、連合長野等が 3 月末頃から、継続してボランティア派遣を予定

【参考】

「長野県大規模災害ボランティア活動応援事業」（1/4 能登半島地震を指定）

対象：5 人以上の団体、グループで行う被災者支援活動

助成額：1 団体上限 20 万円

申込窓口：長野県社会福祉協議会

主な留意事項：出発前に長野県社会福祉協議会への申込が必要